



メタルドウ社長

藤田 國廣氏

コバルト 23—26ドル、荷動き低調もやや上昇

コバルトの国際価格はやや上昇し、ポンド当たり23—26ドルどころと予想している。

99・3%グレードのメタルブリテン誌(LMB)価格は上値21・6ドルまで上昇している。銅相場高に追随してコンセントレート価格が上がっているのが原因のようだ。

しかし足元の荷動きは良くなく、旧正月明けの中国のコンゴ鉱石の買い気も薄い。一般トレードのオフアール価格は18—19ドルとやや低い水準だ。

まだ先の話だが、用途で最も多いスーパーアロイ(高強度耐熱合金)の需要が、次世代航空機向けでいずれ本格化する。短期では見通しが立ちにくいものの、4—6月はポンド23—26ドルといったところだろうか。

ロンドン金属取引所(LME)への先物上場で、現在はLMB価格と二重価格構造になっている。どちらを採用するのか難しいが、LMBに比べてLMEは取引数量が公表され市場を反映するので、いずれLMEに価格主導権が移行するだろう。